

第404回東京大学図書行政商議会議事要旨

日 時 平成24年3月16日（金） 10:00～12:00

場 所 総合図書館3階 大会議室

出席者 <委員長>古田元夫 <委員>久保文明、大江和彦、高田毅士、月本雅幸、寺島一郎、
本間正義、竹野内真樹（代）、鍛冶哲郎、根本 彰、村田茂穂、平地健吾、月橋文孝、
今井 浩、橋元良明、山梨裕司、栗田 敬、池本幸生、中村圭介、畑中研一、坂東優篤（代）、
川崎雅裕、金道浩一、安田一郎

※(代)は代理出席者

<オブザーバー>河野重行、中川裕志（代）、堀 浩一

欠席者 保谷 徹、玉井克哉

列席者 田中成直、木村 優、高橋 努、北村照夫、風巻利夫、茂出木理子、増田晃一、福井明美、
吉田左貴子、高嶋秀介、大澤正男、風巻みどり、藤本蒂子、野口真理子、濱田すみ子、
森田美由紀、久保田壮活、石川一樹、佐藤英之、細谷孝子、金藤伴成、山崎裕子

配付資料

1. 第403回図書行政商議会議事要旨
2. 平成23年度第5回附属図書館サービス特別委員会（24.2.10）報告
 - ・全学共通経費で整備するデータベースの見直しについて
 - ・共同利用図書費で購入する資料の選定について
 - ・平成24年度大型コレクションの選定について
 - ・大型コレクションの年間維持費の負担方法について
- 2-1 キャンパス図書館整備資金取扱要項（案）
- 3-1 平成24年度新図書館構想推進体制
- 3-2 新図書館構想実施スケジュール（案）
- 3-3 新図書館地下1F ライブラリープラザ（仮称）フロアプラン
- 3-4 新図書館構想意見募集への応募意見概況
- 3-5 新図書館地下書庫のあり方について
- 4-1 附属図書館の自己点検・評価の実施計画（案）
- 4-2 （参考）東京大学における自己点検・評価の基本方針
5. 東京大学附属図書館基本規則の一部を改正する規則及び東京大学図書行政商議会議事規則の一部を改正する規則
6. 附属図書館サービス特別委員会議事次第
7. 柏図書館運営委員会議事次第
8. 情報基盤センターと情報システム本部の統合・連携について（報告）

<開 会>

- ・古田委員長の主宰のもとに開会した。
- ・古田委員長から代理出席者の紹介があった。

<議 事>

1. 前回議事要旨の確定

古田委員長から、第403回議事要旨を資料1のとおり確定し、ホームページで公開した旨報告があった。

2. 協議事項

(1) 全学共通経費による基盤的学術雑誌等の整備について

古田委員長から、部局分担額及びキャンパス図書館整備資金の協力に対し謝意が表明された。引き続き畑中サービス特別委員会委員長から、資料2にもとづきサービス特別委員会で議論された4項目について報告及び提案がなされた。

1. データベースの見直しについて：高橋情報管理課長から各部局への調査結果をもとにした追加候補3点と中止候補1点の入れ替え案の説明があった。後日各商議会委員宛てに照会文書を出し、異議のない場合にはこの案で進めていくことが了承された。

2. 共同利用図書費で購入する資料の選定について：畑中サービス特別委員会委員長から利用頻度が低いものを選定し中止をするという方針の説明のあと、高橋情報管理課長から平成24～26年度の3年間に継続して購入する資料を選定にあたり、中止する33点を部局に提示した結果、1点を復活させることになったとの説明があり了承された。

3. 平成24年度大型コレクションの選定について：畑中サービス特別委員会委員長から各部局から推薦のあった中から3点を選定し順位付けをしたとの説明の後、高橋情報管理課長から3点のコレクションについて説明があった。委員から、選定の基準はどうなっているのか等の質問があり、畑中サービス特別委員会委員長から、予算額の枠内で、他の予算での購入が難しいもの、多数の人の利用が想定されるもの等の基準により総合的に判断したとの回答があり了承された。

4. 大型コレクションの年間維持費の負担方法について、畑中サービス特別委員会委員長から大型コレクション費用は普段買えないような大きな額のコレクションを購入するというのが本来の趣旨であり、現実にはコレクション購入の際に5年分程度の維持費を負担している。それ以降についての年間維持費を出すのは大型コレクション費用本体の予算に支障をきたすことになり、平成18年度のサービス特別委員会でも、コレクションとして選定する場合には6年目以降は利用部局で負担することを条件とする点が確認されており、今回のサービス特別委員会でもこの方針を引継ぎ堅持することが了承されたとの説明があった。委員から、趣旨は了解しているが、附属図書館全体として予算の工夫を検討してはどうか、負担する年間維持費の数年分の数年とは何年かとの意見・質問があり、古田委員長から今後の大型コレクション費用及び附属図書館予算全体として合理的な方法があれば、部局負担もありうると受け止めた、高橋情報管理課長から数年とは5年から10年であるとの発言があった。引き続き、畑中サービス特別委員会委員長から大型コレクションを5年から10年で見直し、利用継続を希望する部局は再申請をして、サービス特別委員会で審査できるのが望ましいのではないかと意見が出され、古田委員長から、論点を整理した上で案を作成し4月の図書行政商議会に提案したいとの発言があり了承された。

古田委員長から、キャンパス図書館整備資金取扱要項（案）作成の経緯についての説明があり、木村総務課長から資料2-1にもとづき趣旨、分担部局、決算、期間、改正についての説明がなされ、了承された。

(2) 新図書館構想の推進について

古田委員長から、資料3-1にもとづき、平成24年度については理事懇談会のもとに幹事会が直結する新図書館構想新体制で進めることになったこと、平成25年度概算要求の見通しはたっていないが、3月5日科所長会議において施設担当理事から資料3-2新図書館構想実施スケジュールに基づき、実施設計及び調査については東京大学で予算措置をして開始する旨の発言があったとの報告があった。引き続き古田委員長から資料3-3、資料3-4にもとづき説明があった。続いて資料3-5新図書館地下書庫のあり方については、新図書館構想幹事会として種々検討のうえ、地下書庫に自

動化書庫を設置するとの結論を得たとの説明がなされ、図書行政商議会での了解を得たい旨の発言がありました。引き続き古田委員長から新図書館建設に関しては重要な事項が多々あり、そのつど図書行政商議会で議論いただきたいとの発言があった。

(3) 附属図書館の自己点検・評価の実施について

古田委員長から、資料4-1、4-2にもとづいて概要説明があり、引き続き木村総務課長から実施計画（案）については、実施体制は研究開発室の助言を得つつ事務部が担当すること、自己点検・評価の対象は附属図書館全体であるが、基本的には総合、駒場、柏の各拠点図書館とし、部局図書館の現状把握も含めること、点検項目については蔵書数、学生・教員等の利用者（満足度）調査を含めて検討しているとの説明があった。

古田委員長から自己点検・評価に関しては部局図書館の連携を含め3つの拠点図書館がうまく機能しているか、新図書館構想との関係でどういうふうに進展の方向を模索していく必要があるのかをはっきりさせるということが主たる目的であり、実施方法等については適宜審議していただくということでした。

3. 報告事項

(1) 附属図書館副館長の設置について

木村総務課長から、資料5にもとづき附属図書館副館長設置に伴う規則類の改正が1月19日役員会で承認されたこと、これにそって副館長指名等を進めていくとの報告があった。

(2) サービス特別委員会報告

古田委員長から、協議事項で説明のため省略させていただくとの発言があった。

(3) 柏図書館運営委員会報告

河野柏図書館長から、資料7にもとづき報告があった。

(4) ソウル大学校図書館との相互協力について

古田委員長から経緯についての説明の後、北村情報サービス課長から、ソウル大学校を訪問し協力締結にむけた意見交換を行ったこと、具体的な内容については順次図書行政商議会に報告するとの発言があった。

(5) 平成25年度概算要求について

木村総務課長から、総合図書館の空調設備（ボイラーの取替）を平成25年度も引き続き概算要求していくとの報告があった。

(6) 情報基盤センターと情報システム本部の統合・連携について

木村総務課長から、資料8にもとづいて平成24年7月から新情報システム本部と新基盤センターの運用が開始され、職員については情報システム本部に統合され、基本的には現行の業務運用体制を継続し、今後は新図書館のデジタル化や組織体制を含めて検討が進められる予定との報告があった。情報基盤センター長代理中川先生からは課題も上がっているが、サービス等の業務を充実させていきたいとの発言があった。

(7) その他

古田委員長から次期館長として引き続き務める旨、また副館長、駒場図書館長、柏図書館長予定者についての報告があった。また、今年度最後の図書行政商議会で交代される委員に謝意が表明された。最後に次回新年度の図書行政商議会は4月26日木曜日10時からを予定しているとの発言があった。

〈閉 会〉